

日本三曲協会定期公演
第三回

日本の響

Japan Sankyoku Association
The 3rd regular concert

NIPPON NO HIBIKI

平成28年10月29日(土)

国立劇場小劇場

(東京都千代田区)

〈第一部〉午後3時30分開演(午後3時開場)
〈第二部〉午後6時30分開演(午後6時開場)

第一部、第二部とも

通し券

「チケット取り扱い」

○電話予約 公益社団法人日本三曲協会事務局

03-35585916(平日10時~17時)

○インターネット販売 <http://ephus.jp>

○窓口販売 国立劇場チケットセンター(窓口販売のみ)

○出演者扱

第一部

委嘱作品・初演

「コスモドラグーン」 沢井比河流作曲

「四季の眺」 松浦検校作曲

お話し 久保田敏子

「砧」 生田検校作曲

「五段砧」 光崎検校作曲

「鉢の木」 今井慶松作曲

委嘱作品・初演

「シエークスピアによる断章」

武智由香作曲

「住吉」 山田検校作曲

「対動」 山本邦山作曲

「楓の花」 松阪検校作曲

第二部

今年は山田検校没後200年、生田検校没後301年に当たります。

生田検校作と言われる「砧」の古譜と『砧物』について久保田敏子氏のお話の後で、その復元演奏を鑑賞。

その後100年以上も経ってから作られた「五段砧」をお聴き頂きます。

山田検校の作品からは名曲「住吉」を、没後400年を迎えるシェークスピアの邦訳による委嘱作品など新作も2曲企画しました。

人間国宝を筆頭に現在活躍中の若手演奏家も交えた当協会ならではのプログラムをお楽しみ下さい。

プログラム

第一部

1 コスモドラグーン

沢井 比河流 作曲

第一等	小林 道恵	福田 操明櫻	小畔 香子	他
第二等	外山 香	福田 優子	白橋 操悠	他
十七絃	花岡 操聖	平野 雅寿草	中島 雅裕	他
三絃	吉原 一智枝	阪元 沙有里	山水 雅楓	他
尺八	遠藤 鈴匠	金子 朋沐枝	武田 旺山	
	樋口 景山			

2 四季の眺

松浦検校(～1823年)作曲

箏	山登 松和	
三絃	藤井 泰和	福田 栄香
胡弓	川瀬 露秋	

3 お話 久保田 敏子(京都市立芸術大学名誉教授)

砧

生田検校(1656年～1715年)作曲

箏 牧瀬 裕理子

五段砧

光崎検校(～1853年頃)作曲

箏替手	岩城 弘子	吉澤 昌江	上條 妙子
	村田 章子	松井 美千子	市橋 京子
	野澤 潤子	多々良 香保里	長谷川 愛子
箏本手	宮越 雅虹	木村 雅楽慈穂	野沢 雅世
	合田 雅楽葉	久松 雅紗恵	宇野 雅楽恵
	田辺 雅穂	田村 雅軸徴	関 雅美
	田中 雅紀美		

4 鉢の木

今井 慶松(1871年～1947年)作曲

箏	山勢 松韻(人間国宝)	
	武田 祥勢	奥山 益勢
三絃	山勢 麻衣子	
笛	福原 徹(賛助出演)	
小鼓	望月 左太郎(賛助出演)	
大鼓	福原 百之助(賛助出演)	
薩摩子	梅屋 喜三郎(賛助出演)	

第二部

1 シェークスピアによる断章

武智 由香 作曲

唄	下野戸 重弓	佐々木 千香能	萩岡 未貴
箏	伊藤 松超	上村 和香能	久本 桂子
	朝香 麻美子	設楽 千聡代	田中 奈央一
	上原 真佐輝	山木 七重	
尺八	神 令		

2 住吉

山田検校(1937年～2014年)作曲

箏	鳥居 名美野	中能島 弘子	岸辺 美千賀
三絃	藤井 千代賀		
尺八	藤井 治童		

3 対動

山本 邦山(1937年～2014年)作曲

尺八	遠藤 鈴匠	金子 朋沐枝	神 令
	菅原 久仁義	武田 旺山	田辺 頌山
	田辺 洸山	長瀬 建山	野村 峰山
	樋口 景山	舛田 路山	山口 連山 他

4 楓の花

松阪検校(1854年～1920年)作曲

箏本手	米川 文子(人間国宝)		
	米川 文威津	長谷川 文千佐	森井 文己枝
	五月女 文勝於	五月女 文紀	
	辻本 親登代	道又 親み幸	原武 親鳳生
	大学 敏悠	野口 敏翠	江藤 敏典
	矢山 敏成	松本 敏久鶴	高野 敏須鶴
	亀川 敏里		
箏替手	米川 敏子		
	石田 敏紀	小林 敏弓	岡崎 敏優
	吉田 敏乃		
	米川 文清	星野 文伸加	山元 文志生
	齊藤 文香代紀	鈴木 文徳加	広沢 文尤加
	五十嵐 文之田	多田 文勝磁	櫻木 文勝作
	矢野 文志津圓	佐藤 文岳品	
尺八	川瀬 順輔		
	齋藤 秀輔	阿部 竹輔	江頭 妙輔
	本間 大輔	角能 萩輔	清水 晃堂
	家後 初輔	中山 登輔	田中 航輔
	西川 皓輔		